

## 後期基本計画の進捗管理方法について

### 1 これまで（前期基本計画）の進捗管理方法

- 『成果指標』を設定し、実績と照らし合わせることで『達成』『未達成』などの判別を行い、進捗を測っていた。

（成果指標における進捗管理）

| 主なメリット   | 主なデメリット  |
|--|--|
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・「達成」「未達成」などで進捗状況を判別するため、進捗の程度がわかりやすい。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・『成果指標の達成＝将来像の実現』とは言い難い。</li> <li>・成果指標を達成することばかりに気をとられてしまう。</li> <li>・達成状況を測る適切な指標が少ない。</li> </ul> |

### 2 後期基本計画における進捗管理方法の考え方

- 「目指すまちのすがた」に寄与した取組実績・成果をあげていく。
  - ・総合計画は「今後のまちづくりのあるべき姿と進むべき方向性を示す基本的な方針」であり、これら方針の成果を数値で追うこと自体が困難と考え、今後は「目指すまちのすがた」に向かって、どのような取組を行ったか、どのように寄与したか・貢献したかを管理していくこととする。
- 指標は『点検』のための物差し
  - ・後期基本計画では、指標は「成果」を測るものではなく「施策の見直しと改善を行うときの『点検』のための物差し」として活用していく。

### 3 後期基本計画における進捗管理方法について

- ・PDCAサイクルのイメージ（裏面参照）
- ・進捗管理の公表のイメージ

### 4 今後（令和4年度）のスケジュール

- ・8月下旬・・・各課とのヒアリング（中間フォロー、次年度計画案について）
- ・2月～3月・・・進捗管理シートの作成（シートD、C及びAの部分）
- ・3月下旬・・・公表